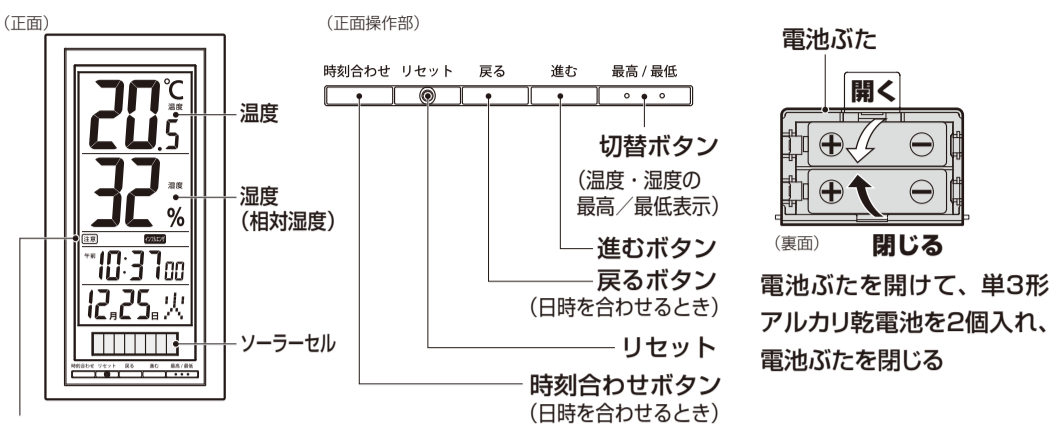




電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



注意表示 熱中症 食中毒 インフルエンザ カビ・ダニ  
 リセットは、電池を入れた直後に押します。リセットを押すと、2010/1/1 温度と湿度の状態により点灯します。  
 注意) は常時表示。

## 使い始めるときまたは電池を交換するとき

- 1.電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**  
電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 2.ボールペンの先などでリセットを押す**  
誤作動を防ぐために、電池を入れた直後に必ずリセットを押してください。  
温度と湿度は6秒程度遅れて表示されます。
- 3.日付と時刻を合わせる**

### 操作手順

- 進むまたは戻るボタンで数値を設定します。  
 押してすぐ離す:1つ単位 押し続ける:早送りまたは早戻し
- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続ける。
  - 西暦年を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。
  - 月を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。
  - 日を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。
  - 時を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。  
午前/午後の表示に注意
  - 分を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。  
※⑤と⑥で進むまたは戻るボタンを押すたびに00秒になります。  
以上で設定は終わりです。  
※設定中にボタン操作を約30秒中断すると設定を終わります。

## ソーラー発電と電池について

200ルクス程度の明るさで、液晶の表示に必要な程度の電力を発電して電池の消耗を抑えます。

- ソーラー発電で蓄電する機能はありません。
- ソーラー発電だけでは正常に使用できません。必ず電池を入れてご使用ください。
- ソーラーパネルは直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなることがあります。

**注意** 電池の液漏れにより、本体の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。次のようなときには、電池を交換するか、電池を取り出します。

- 暗い所で液晶表示が薄くなる。
  - 表示が消える。
  - 電池を入れて5年を経過した。
- 電池を交換するときの注意**
- 電池を長期間使用しますので、交換するときは電池に表示されている「使用推奨期間」が交換する年より4~5年先のものを使用してください。

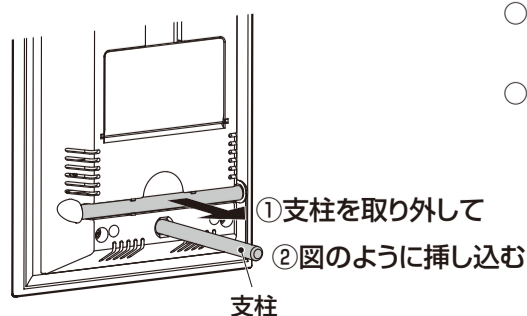
## 設置

**注意** 室内用です。防塵・防滴仕様ではありません。内部に水滴やほこりが入ると故障や誤作動の原因になります。

### ●設置場所について

- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- ※屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- ※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでできます。

**置** 置いてご使用になるときには、裏面から支柱を取り外して、下図のように挿し込んでください。



- 水平で振動などが少ない安定した所に設置してください。
- 掛けて使用するときには、支柱を失くさないように裏面に収納してください。

## 温度・湿度表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。  
 温度、湿度の計測は1分間隔で行います。  
 測定範囲 温度 -9.9~50℃、湿度 20~95%RH (温度が5~50℃のとき)

### 測定ができないときの表示

- 温度「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温
- 湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

### ■温度・湿度の最高/最低表示

切替(最高/最低)ボタンを押すと24~25時間以内の温度と湿度の最高値と最低値を見ることができます。

○切替ボタンを押すたびに温度と湿度の表示が、最高→最低→現在→最高…の順で切り替わります。

○放置すると約10秒で現在の温度、湿度表示になります。

※最高または最低を表示しているときは、注意表示をしません。

**最高/最低の記録を新しく開始させるには**  
 切替ボタンを約3秒間押し続けると、新しく記録を開始します。  
 記録を開始後1分間は、記録がないため、切替ボタンを押すと「--」が表示されます。

### ■注意表示

注意 熱中症 食中毒 インフルエンザ カビ・ダニ

温度と湿度の状態が上記注意事項に該当すると表示が点灯します。  
 ※表示は発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。  
 ※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

## ひとくちメモ

### 相対湿度

空気のなかにどれだけ水蒸気(水が気体になったもの)があるかを示すものです。  
 単位体積当りの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。  
 この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。  
 単位は「%RH」ですが、天気予報など一般には「%」で表示されることが多いです。

### 熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。  
 こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

### 食中毒

- 梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、
1. 菌を付けない(清潔にする)
  2. 菌を増やさない(迅速に冷却、乾燥する)
  3. 菌を加熱などで殺す

### インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

### カビ・ダニ

一般にカビ・ダニ等は、室温20~30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

**掛** **注意** 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

### その他の壁面の場合

石膏ボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造に合った市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は落下する危険がありますので、使用しないでください。

